

2020年1月21日

外科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 当院における PTGBD 後、胆嚢摘出術までの待機期間に関する検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道医療センター 菊地 誠志

[研究責任者名・所属] 三野 和宏 北海道医療センター 外科・医長

[研究の目的] 当院のPTGBD（経皮経肝的胆嚢ドレナージ）後の胆嚢摘出術症例において、開腹（開腹移行を含む）の有無、術中合併症の有無、自動縫合器使用の有無、手術時間、出血量、術後合併症の有無、術後在院日数に影響を与える因子を調査し、今後の診療の参考とする。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2010年1月～2019年4月の間に、北海道医療センター外科にて手術を行った患者さん

○利用するカルテ情報

年齢、性別、BMI、ASA、performance status、抗血小板剤・抗凝固剤内服の有無、胆嚢炎発症からPTGBDまでの期間、PTGBDから手術までの期間、術前のPTGBD抜去および一時的退院の有無、PTGBD時および術前の血清CRP・アルブミン値、systemic inflammatory response syndrome (SIRS)、開腹（開腹移行を含む）の有無、術中合併症の有無、自動縫合器使用の有無、手術時間、出血量、術後合併症の有無、術後在院日数

[研究実施期間]

実施許可日～2020年7月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

2020年1月21日

[連絡先・相談窓口]

札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター 外科 担当医師 三野 和宏

電話 011-611-8111 (代表) FAX 011-611-5820